

平成8年度予算 一般会計429億1千600万円のあらまし

平成8年度の当初予算が第1回定例市議会で成立しました。市財政の中心となる一般会計予算額は429億1千600万円で、前年度に比べ9億9千900万円の減となり、マイナス2.27%です。さらに、特別会計と水道事業会計を含めた総予算額は700億8千741万5千円で、0.07%の伸び率です。ここでは、主に一般会計の内容を歳入歳出別にお知らせします。

図3 歳出の性質別内訳 (100%)



歳出とは、市民皆さんのために使われるお金のことです。図2は、歳出を目的別に表しました。土木費が最も多く、道路の整備や公園の管理などに充てられています。次に民生費ですが、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉などの充実を図ります。続いて衛生費ですが、第一環境センターの余熱を利用した施設の建設が主なものです。図3は歳出を性質別に表したもので、最も多いのは昨年度同様、投資的経費です。これは主に建設事業に要する経費です。次に、職員の給与などの人件費、物品購入や業務委託などの物件費と続いています。図4-1・2は、市税と目的別歳出を市民一人当たりで換算したものです。市税は14万6千227円で前年度比5千78円の増、歳出は26万3千151円で5千664円の減です。問い合わせ財政課へ内線339

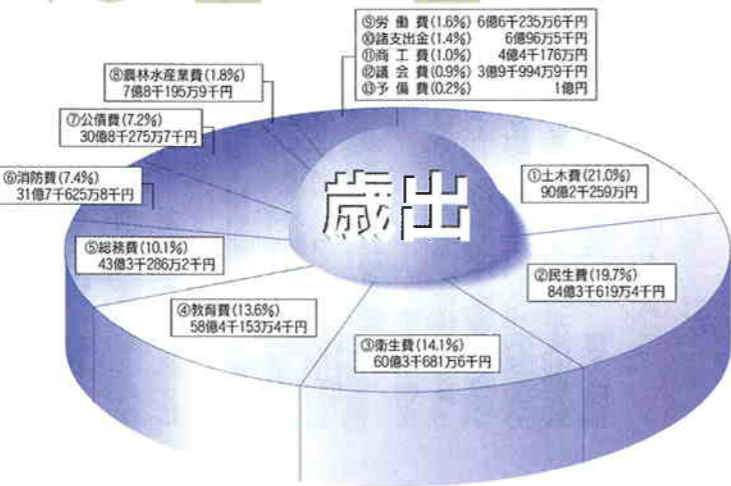


図2 歳出総額429億1千600万円 (100%)

福祉の充実、余熱利用施設の建設など

歳出とは、市民皆さんのために使われるお金のことです。図2は、歳出を目的別に表しました。土木費が最も多く、道路の整備や公園の管理などに充てられています。次に民生費ですが、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉などの充実を図ります。続いて衛生費ですが、第一環境センターの余熱を利用した施設の建設が主なものです。図3は歳出を性質別に表したもので、最も多いのは昨年度同様、投資的経費です。これは主に建設事業に要する経費です。次に、職員の給与などの人件費、物品購入や業務委託などの物件費と続いています。図4-1・2は、市税と目的別歳出を市民一人当たりで換算したものです。市税は14万6千227円で前年度比5千78円の増、歳出は26万3千151円で5千664円の減です。問い合わせ財政課へ内線339

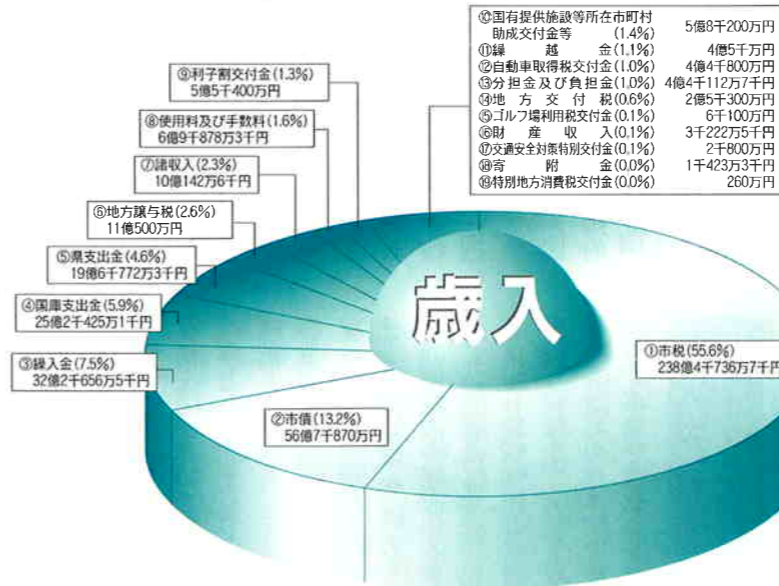


図1 歳入総額429億1千600万円 (100%)

市税の伸び率、3年ぶりにプラス

歳入とは、市の財源として入ってくるお金のことを言います。図1はその内訳を表したものです。歳入では、市税が半分以上を占めており、伸び率は3.4%で3年ぶりにプラスに転じています。続いて多いのが市債ですが、これは国などから借りているお金のことで、各種の建設事業などの財源となります。市債は、前年度比で23.4%の減となっています。次に繰入金ですが、これは今まで市

平成8年度一般会計・特別会計予算一覧 (単位:千円)

区分	平成8年度 予算額	平成7年度 予算額	比較	
			金額	増減率(%)
一般会計	42,916,000	43,915,000	△999,000	△2.27
国民健康保険	6,442,325	6,093,465	348,860	5.73
下水道事業	6,449,492	6,791,000	△341,508	△5.03
文化及び産業功労者等奨励事業	3,196	3,326	△130	△3.91
老人保健	6,994,537	6,261,650	732,887	11.70
狭山市計画事業上広瀬	1,155,103	1,417,314	△262,211	△18.50
狭山市計画事業狭山市駅東口	264,101	170,012	94,089	55.34
狭山市計画事業狭山市駅東口	264,101	170,012	94,089	55.34
水道事業会計	5,862,661	5,384,645	478,016	8.88
合計	70,087,415	70,036,412	51,003	0.07

が積み立ててきたお金(基金と言います)のことで、計画的にいろいろな事業に対して活用されます。次の国庫支出金、県支出金とは、市が行う事業に対して国や県から交付されるお金のことを言います。これは、前年度比で4億7千364万5千円、11.8%の増となっています。続いて地方譲与税諸収入、使用料及び手数料、利子割交付金などとなっています。

重点施策の 主な予算

- ①調和のとれたまちをめざして
 - ◆狭山市駅西口周辺整備事業700万円◆狭山市駅東口土地地区整備事業1億3千872万円◆入管駅東口土地地区整備事業3000万円◆狭山入管駅東口土地地区整備事業4000万円◆上広瀬土地地区整備事業4億2千47万1千円◆都市計画道路整備事業4億2千47万1千円◆一般市道整備事業13億9千700万円◆放置自転車対策事業4千733万6千円◆第5期水道施設拡張事業21億694万9千円◆水道配水管改良事業8千784万7千9千円◆公共下水道(雨水)整備事業9億9千46万9千円◆入間川地区住居表示整備事業3千150万円◆水洗化の促進1億3千644万7千円
- ②快適で安全なまちをめざして
 - ◆入間川河川敷公園緑地整備事業4千700万円◆街区公園整備事業3千万円◆緑地保全推進事業3千264万1千円◆入管多目的広場調剤施設整備事業5億1千200万円◆水対策事業3億2千300万円◆清掃センター1余熱利用施設整備事業4000万円◆第二環境センター余熱利用施設整備事業16億3千509万1千円◆総合リサイクルプラザ(仮称)整備事業2000万円◆消防本部庁舎建替事業14億5千890万2千円◆消防赤パイク整備事業77万9千円◆消防機械整備事業5千778万6千円◆消防水利施設整備事業3千100万円◆消防団施設整備事業3千750万円◆備蓄倉庫建設事業3千710万円◆災害用給水井戸整備事業5千800万円◆防災無線難聴地域対策事業1千475万円◆環境基本計画の策定1千200万円◆緑の基本計画の策定800万円◆シルバークラウドングプロジェクト事業計画の策定1千500万円◆一般廃棄物処理基本計画の改定800万円◆ごみ減量啓発ビデオの制作300万円◆リサイクル都市宣言573万円◆廃棄物減量等推進員の設置922万8千円◆半透明・透明み袋による収集372万9千円◆防犯灯電気料金補助制度の充実2千405万3千円◆防

図4-2 市民一人に使われるお金

①土木費	5万5千325円
②民生費	5万1千729円
③衛生費	3万7千16円
④教育費	3万5千819円
⑤総務費	2万6千568円
⑥消防費	1万9千476円
⑦公債費	1万8千903円
⑧その他	1万8千315円
歳出合計(市民一人当たり)	26万3千151円

図4-1 市民一人が負担する市税

①市民税	7万4千26円
②固定資産税	5万9千743円
③都市計画税	7千281円
④市たばこ税	4千163円
⑤軽自動車税	522円
⑥特別土地保有税	492円
市税総額(市民一人当たり)	14万6千227円

※人口は、16万3千85人
(平成8年1月1日現在)

- ③健康で生きがいのあるまちをめざして
 - ◆水野保育所増改築事業1億7千132万1千円◆特別養護老人ホーム整備事業2億5千円◆青い実学園建替事業2億4千500万円◆児童育成計画の策定300万円◆機能訓練通所者送迎事業565万8千円◆狭山市入間市合同福祉バサールの開催300万円◆障害者高齢者ふれあい農園の開設323万5千円◆在宅給食サービス事業228万8千円◆24時間対応巡回型ホームヘルプサービス事業3千309万1千円◆在宅介護支援センターの設置促進6千718万円◆在宅福祉センター老人及び重度障害者おむつ給付事業2千47万2千円◆重度障害者移動支援事業614万円◆聴導犬訓練費助成事業20万円
- ④文化の香り高い人間性豊かなまちをめざして
 - ◆園舎空調設備改修事業2千110万円◆校舎空調設備改修事業2億7千215万円◆校舎大規模改修事業4億4千560万円◆入間川小学校移転建替事業1億700万円◆西中学校体育棟建替事業2億3千100万円◆小学校教育用コンピュータ整備事業2千351万5千円◆生涯学習の促進910万4千円◆いじめ等緊急対策推進事業105万5千円◆英語教育の充実5千95万7千円◆幼稚園児育成事業2000万円◆学校開放講座モデル事業39万6千円
- ⑤活力あふれる豊かなまちをめざして
 - ◆ほ場整備事業6千375万円◆畑地かんがい施設整備事業2千万円◆農道整備事業1億5千410万8千円◆茶生産基盤整備事業9800万円◆野菜生産近代化施設整備事業1千200万円◆商店街環境整備事業2千600万円◆農用地利用構想の策定2500万円◆地域産業振興指針の策定600万円◆(財)勤労者福祉サービスセンターへの支援2千296万円◆特産品開発研究促進事業30万円◆緊急特別融資制度の創設3千600万円
- ⑥心のかよふふるさとをめざして
 - ◆コミュニティ施設特別整備事業1億2千232万6千円◆統営市との姉妹都市交流の充実288万1千円◆平和祈念資料展の開催63万6千円◆女性のための総合計画の推進192万9千円